

令和5年度 校内研修実施計画（概要）

I 研究の内容

1. 研究のテーマ（案）

自他のよさや可能性を認め合い、心豊かな向陽っ子の育成
～ 一人一人が大切にされる教育活動を通して ～

（1）本校の教育目標とこれまでの研究から

本校は「夢をもち、心豊かでたくましく学び続ける子供の育成」を学校教育目標に掲げ、児童の現状や教職員の指導上の課題を踏まえ、具体的なテーマを設定し、研究実践を行ってきた。令和2年度からは3年間、国語科「書くこと」に焦点化し、教科指導力向上と確かな学力定着のための研究を進めてきた。その結果、国語学習の進め方について共通理解・共通実践を図ることで教師の指導力も向上し、本校の子供たちは、自分の考えを文章や言葉で表現することへの苦手意識が少なくなり、習得した語彙や表現を進んで活用しようとする態度が見られるようになった。また、各種学力調査等でも県比・全国比を上回るようになった。

その反面、全国学力学習状況調査等などにおいては、児童の自尊感情や自己肯定感、挑戦心の乏しさなどが見られる。また、規範意識の醸成も十分とは言えず、学級・学年間での児童同士のトラブルや教室登校に不安を抱える児童の存在などの課題も見られる。また、教職員も授業や学習活動において、一人一人が輝けるような指導・支援をどのように行えばよいのかを模索している。

このような本校の実態を踏まえ、今年度は、本校における人権教育の取組を見直し、人権教育をより一層充実させることで、児童一人一人が自分に自信をもち、自己を高める意識を育成し、自他のよさや可能性を認め合い協働しながらよりよい社会を築こうとする児童の育成について研究を進めていく。

そのために、「授業づくり」「仲間づくり」「環境づくり」を研究推進の柱とし、これまでの人権教育に工夫を加え、教科横断的な視点で全教育活動において人権教育を推進していく。具体的には、「授業づくり」では、人権教育の視点に立った教科等指導を、「仲間づくり」では、人権が尊重される学級・学年での仲間づくりを、「環境づくり」では、人権が尊重され

る校内の環境づくりや環境整備について研究を進める。

(2) 研究の組織

		校長		
		教頭		
研究推進委員会(基礎学力向上委員会)		全体研究会		
班別研究会・学年部研究会(※敬称略)				
		授業づくり(4)	仲間づくり(10)	環境づくり(16)
内容		人権教育の視点に立った教科等指導 ・ 授業モデルの設定 ・ 発達段階に応じた人権問題の設定 等	人権が尊重される仲間づくり ・ 特別活動等におけるよりよい人間関係構築のための手立て	人権が尊重される環境づくり ・ みんなが気持ちよく過ごせるルールづくり ・ 温かみのある校内環境整備(家庭科室含) 等
班長			1 (2)	1 (2)
低学年部	1年	/	2	4
	2年		2	3
中学年部	3年	/	1	1
	4年		2	3
高学年部	5年	/	1	2
	6年		2	3